

東京大学 海外留学・国際交流プログラム報告書(3ヶ月以上1年未満)

2018年7月18日

東京大学での所属学部・研究科等:	教養学部	学年(プログラム開始時):	学部3
参加プログラム:	全学交換留学	派遣先大学:	ウォーリック大学
卒業・修了後の就職(希望)先:			
	1. 研究職		2. 専門職(医師・法曹・会計士等)
	3. 公務員		4. 非営利団体
	✓ 5. 民間企業(業界: 映画、放送)		6. 起業
	7. その他()		

派遣先大学の概要

イギリス研究型大学群ラッセルグループのメンバー校で、29の学部と50以上の研究センターで構成される。1965年に国王の勅許を得て創立されて以来国内トップ10にランクインし続けている。

留学した動機

卒論で扱う予定であったC.S.ルイスのナルニア国物語について学ぶにあたり、英文学の基礎的な知識が不足していると感じたため。

留学の時期など

①留学前の本学での修学状況:	2017年	学部3	年生の	夏	学期まで履修
②留学中の学籍:	留学				
③留学期間等:	2017年	10月~	2018年	6月	年時に出発
④留学後の授業履修:	2018年	学部3	年生の	冬	学期から履修開始
⑤就職活動の時期:	2019年	学部4	年生の	4月頃に	行う予定
⑥本学での単位数:	留学前の取得単位		44単位		
	留学先で取得し、本学で単位認定申請を行う単位		16単位		
	留学後の取得(予定)単位		20単位		
⑦入学・卒業/修了(予定)時期:	2015年	4月入学	2020年	3月卒業/修了	
⑧本学入学から卒業/修了までの期間:	5年		0ヶ月間		

⑨留学時期を決めた理由:

コースの調査研究実習に入る前に英文学の知識を得ておきたいと思ったため。

留学の準備

①留学先大学への入学手続き(手続きにあたってのアドバイスなど)

情報は質問しない限り得られないことも多いので、質問はまとめておき留学先と直接連絡をできるようになったら聞くのが最も効率的だと思う。

②ビザの手続き(ビザの種類、申請先、手続きに要した時間、ビザ申請にあたってのアドバイスなど)

学生用のTier4ビザを取得した。人により手続きにかなり時間がかかるので早めに申請すべきだと考える。

③医療関係の準備(出発前の健康診断、常備薬、予防接種等)

歯科検診のみ受けた。

④保険関係の準備(加入した海外旅行傷害保険・留学保険等)

付帯海学など、指定されたもののみ加入した。

⑤留学にあたって東京大学の所属学部・研究科(教育部)で行った手続きなど(履修・単位・試験・論文提出等に関して)

後期教養学部の窓口で留学届けを提出した。

⑥語学関係の準備(出発前の語学レベル・語学学習等)

一年前にシェフィールド大学でのサマープログラムに参加していたが、TOEFLをその後受験し80点にとどまっていたので、その後IELTSを受験し7.0を取って選考に備えた。

⑦日本から持参した方がよいもの、その他出発前にやっておくべきこと・アドバイスなど

リスニングの訓練をしておくことは大いに役にたつと思う。一学期だけでリスニングが向上するのに時間がかかったため。

学習・研究について

①履修した授業科目のリスト(授業を履修した場合)

※そのうち、帰国後東京大学で単位認定の申請を行ったもの(又は行う予定のもの)に●をつけてください。

授業科目名	単位数	単位認定の申請	授業科目名	単位数	単位認定の申請
epic into novel	30	●			
medieval to renaissance english literature	30	●			
modes of readig	30	●			
modern world literature	30	●			

②留学中の学習・研究の概要(授業・予習・復習のスタイル、印象に残っている授業等)

全ての授業が予習としてリストにある書籍、もしくは論文を読んでレクチャーを1時間受け、また違う時間に1時間ディスカッション中心のセミナーがある形式だった。

③1学期あたりの履修科目・単位数、週あたりの学習・研究時間(授業時間・授業以外の学習時間)など

4科目を履修し、週8時間に加え留学生用の英語を補強するクラスが3時間分あった。

④学習・研究面でのアドバイス

授業の音声を録音しているサービスがあったので使用すると復習の際に役立つ。

⑤語学面での苦労・アドバイス等

一学期めは聞き取るだけで苦労した。留学生用のクラスで質問の仕方などを習ったことが役立ったと思う。

生活について

①宿泊先(種類(寮・ホームステイ・ルームシェア等)、家賃、宿舎の様子、見つけた方法など)

6人でキッチンとバスルームを共有する寮で生活していた。アジア人の女子学生しかいなかったのも特に大きな問題はなかった。

②生活環境(気候、大学周辺の様子、交通機関、食事、お金の管理方法(海外送金・クレジットカード)など)

キャンパスしかないところだったので非常に治安は良かった。市街地に出る際はバスを利用した。クレジットカードとデビットカードを一枚ずつ使用していた。

③危機管理関係(留学先の治安、医療機関の事情、心身の健康管理で気をつけた点など)

治安はよく、キャンパス内にヘルスセンターもあったため特に問題はなかった。

④留学に要した費用について(航空賃、授業料、教科書代、家賃、食費、交通費、娯楽費などの概算)

・毎月の生活費とその内訳

食費として120ポンドほど、娯楽費として20ポンドほど使っていたと思う。

・留学に要した費用総額とその内訳

1500ポンドほど生活費として使い、寮費として4290ポンド、航空費で25万円ほどかかった。

⑤奨学金(受給していた場合は、支給機関・支給額・見つけた方法など)

JASSOの奨学金を受給していた。月8万

⑥学習・研究以外の活動(スポーツ・文化活動、ボランティア・インターン、週末や長期休暇の過ごし方など)

長期休暇は欧州旅行に行っていた。

派遣先大学の環境について

①留学生へのサポート体制(語学面・学習面・生活面・精神面でのサポート等)

留学生用のオリエンテーションが充実しており、personal tutorとの話し合いが行われていた。

②大学の設備(図書館・スポーツ施設・食堂・PC環境等)

学生証で施設に簡単に入れるようになっており、24時間使用できる図書館など設備も充実していた。

留学と就職活動について

①(就職活動を既に行った場合)留学が就職活動に与えた影響、メリット・デメリットなど

行なっていない。

②(今後就職活動を行う場合)留学が就職に対する考え方に与えた影響

日本と海外を繋ぐような仕事に関心を持つようになった。

③留学中の就職活動への対策など(もしあれば)

特にない

④就職が決まっている場合は、差し支えない範囲で就職先をお知らせください

- | | |
|--|--------------------------|
| | 1. 研究職 |
| | 2. 専門職(法曹・医師・会計士等)(職名:) |
| | 3. 公的機関(機関名:) |
| | 4. 非営利団体(団体名又は分野:) |
| | 5. 民間企業(企業名又は業界:) |
| | 6. 起業(分野:) |
| | 7. その他() |

留学を振り返って

①留学の意義、留学を通じて成長したこと、その他留学を通じての所感

英語力の向上だけでなく、1人で自立して生活することの大変さ、文化が違う人々と共同生活することの難しさと面白さを学んだ。

②留学後の予定

3年の冬学期に戻り、通常通り授業を受ける予定である。

③今後留学を考えている学生へのメッセージ・アドバイス

一年卒業までの期間が伸びることや、経済的負担などはあるかもしれないが、興味関心が少しでもあるのなら成長できる機会としてすすめたいと思う。やりたいことを明確にして臨むことでより成果が得られるのでは無いかと思う。

その他

①準備段階や留学中に役に立ったウェブサイト・出版物

英国ビザ取得業者のホームページ、地球の歩き方

②その他東京大学のホームページ・出版物等に掲載してよい留学中の写真があれば添付してください。

東京大学 海外留学・国際交流プログラム報告書(3ヶ月以上1年未満)

2018 年 7 月 20日

東京大学での所属学部・研究科等:	文学部	学年(プログラム開始時):	学部3
参加プログラム:	全学交換留学	派遣先大学:	ウォーリック大学
卒業・修了後の就職(希望)先:			
	1. 研究職		2. 専門職(医師・法曹・会計士等)
	3. 公務員		4. 非営利団体
	✓ 5. 民間企業(業界:)		6. 起業
	7. その他()		

派遣先大学の概要

ウォーリック大学(University of Warwick)はイングランドのウェスト・ミッドランズ州コヴェントリー市にある総合大学である。1965年設立。イギリスの研究型大規模大学連合「ラッセル・グループ」加盟校。400を超える企業との産学連携など、数々の先進的な施策に積極的に取り組んで卓越した成果を上げている。

留学した動機

現在芸術と社会の関わりについて学ぶため、より具体的な美術作品についての知識を身に付けたいと思い、西洋美術研究の本場であるイギリスで美術史ランキング1位の本大学に留学した。

留学の時期など

①留学前の本学での修学状況:	2017 年	学部3	年生の	S1	学期まで履修
②留学中の学籍:	留学				
③留学期間等:	2017 年	10 月~	2018 年	6 月	
	学部3	年時に出発			
④留学後の授業履修:	2018 年	学部3	年生の	S2	学期から履修開始
⑤就職活動の時期:	2018 年	学部4	年生の	6 月頃に	行う予定
⑥本学での単位数:	留学前の取得単位				単位
	留学先で取得し、本学で単位認定申請を行う単位				0 単位
	留学後の取得(予定)単位				単位
⑦入学・卒業/修了(予定)時期:	2015 年	4 月入学	2020 年	3 月卒業/修了	
⑧本学入学から卒業/修了までの期間:	5 年		ヶ月間		

⑨留学時期を決めた理由:

学部に進学し、専門課程が始まったため。就職活動に支障が出ない時期を選びたかったため。

留学の準備

①留学先大学への入学手続き(手続きにあたってのアドバイスなど)

全てオンライン上で手続きが可能である。

②ビザの手続き(ビザの種類、申請先、手続きに要した時間、ビザ申請にあたってのアドバイスなど)

過去にUKビザを申請した方のブログなどを参考に進めた。

③医療関係の準備(出発前の健康診断、常備薬、予防接種等)

直前に不調が見つかり、現地で保険外診療を行なったため、早めに済ませておくことを勧める。

④保険関係の準備(加入した海外旅行傷害保険・留学保険等)

大学推奨のもの。

⑤留学にあたって東京大学の所属学部・研究科(教育部)で行った手続きなど(履修・単位・試験・論文提出等に関して)

留学届の提出。

⑥語学関係の準備(出発前の語学レベル・語学学習等)

オンライン英会話を行なっていたが、それ以外に特筆して準備は行っていない。

⑦日本から持参した方がよいもの、その他出発前にやっておくべきこと・アドバイスなど

ウォーリックの隣には大きなスーパーや薬局が入った複合施設があるためだいたい物は揃う。アジアスーパーもあるので白米やカレールーなども入手でき日本の食材を大量に持ってくる必要はない。

学習・研究について

①履修した授業科目のリスト(授業を履修した場合)

※そのうち、帰国後東京大学で単位認定の申請を行ったもの(又は行う予定のもの)に●をつけてください。

授業科目名	単位数	単位認定の申請	授業科目名	単位数	単位認定の申請
Introduction to Art History 1	30CATS				
Introduction to Art History 2	30CATS				
Prints	15CATS				
Print Techniques	15CATS				
The Art of Baroque	30CATS				

②留学中の学習・研究の概要(授業・予習・復習のスタイル、印象に残っている授業等)

基本的に予習文献が課され、それを読んで授業に参加する。座学+ゼミという感じで、時に軽いプレゼンテーションが課されることもあった。各授業一回ずつ実際に美術施設に行く機会があった。

③1学期あたりの履修科目・単位数、週あたりの学習・研究時間(授業時間・授業以外の学習時間)など

1年で120CATSの履修。講義が1コマ60分、ゼミが1コマ120分。授業自体は週8時間。

④学習・研究面でのアドバイス

正規の学生の履修登録が留学生より先に終了しており、定員に達していた授業も多かった。そのため選択授業の選択肢はほとんどなかった。

⑤語学面での苦勞・アドバイス等

学科では正規の学生は留学生がくる前から知り合いで、コミュニティが出来上がってしまっており中に入っていくのが難しかった。留学生同士で仲良くなる場合も、1学期のみの留学で帰国してしまう学生が多い。

生活について

①宿泊先(種類(寮・ホームステイ・ルームシェア等)、家賃、宿舎の様子、見つけた方法など)

On Campusの寮。第何希望になるかは運。それぞれの寮によりキッチンやフラット、お風呂のシェア人数が違うので大学からの情報を見て確認する。

②生活環境(気候、大学周辺の様子、交通機関、食事、お金の管理方法(海外送金・クレジットカード)など)

日本から持ってきた3枚のカードのうち2枚が不正利用にあった。カードは複数枚持参したほうが安心。

③危機管理関係(留学先の治安、医療機関の事情、心身の健康管理で気をつけた点など)

大学の医療機関は一般的なNHSの病院より予約が取りやすいと感じた。メンタルヘルスの無料セミナーがよく開かれているので、wellbeingのページなどから確認して見るのが良いと思う。

④留学に要した費用について(航空賃、授業料、教科書代、家賃、食費、交通費、娯楽費などの概算)

・毎月の生活費とその内訳

・留学に要した費用総額とその内訳

⑤奨学金(受給していた場合は、支給機関・支給額・見つけた方法など)

トビタテ！留学JAPAN

⑥学習・研究以外の活動(スポーツ・文化活動、ボランティア・インターン、週末や長期休暇の過ごし方など)

ロンドンのアートチャリティーにおいて2ヶ月間週1回ボランティア。

派遣先大学の環境について

①留学生へのサポート体制(語学面・学習面・生活面・精神面でのサポート等)

英語が母語でない学生のために英語サポートの授業が無料で開講されている(週1回、2時間など)ので利用すると良い。また留学オフィスが週末にイギリス日帰りツアーを開催してくれることがある。

②大学の設備(図書館・スポーツ施設・食堂・PC環境等)

図書館は24時間営業。食堂(や大学内の飲食店)は高くてもまずいので基本的に自炊。Wifiは早い。

留学と就職活動について

①(就職活動を既に行った場合)留学が就職活動に与えた影響、メリット・デメリットなど

②(今後就職活動を行う場合)留学が就職に対する考え方に与えた影響

一年間期間をあけてから就活に取り組めたので心理的余裕はある。

③留学中の就職活動への対策など(もしあれば)

④就職が決まっている場合は、差し支えない範囲で就職先をお知らせください

- | | |
|--|--------------------------|
| | 1. 研究職 |
| | 2. 専門職(法曹・医師・会計士等)(職名:) |
| | 3. 公的機関(機関名:) |
| | 4. 非営利団体(団体名又は分野:) |
| | 5. 民間企業(企業名又は業界:) |
| | 6. 起業(分野:) |
| | 7. その他() |

留学を振り返って

①留学の意義、留学を通じて成長したこと、その他留学を通じての所感

良い面も悪い面も含めて日本社会・文化の細かさを感じた。イギリスでは日曜にスーパーが4時で閉まる、スーパーの商品包装が破れていることは日常茶飯事、でもそれでみんなが納得している。日本はプロダクトやサービスなど多岐にわたリクオリティが高いが、そのせいで余裕がなくなっているとも感じる。

②留学後の予定

学生生活、就職活動。

③今後留学を考えている学生へのメッセージ・アドバイス

留学を決めてから、色々な人から留学したい、羨ましいと言われたが、それを実行している人がどれだけいるだろうと思う。環境により本人の努力量も変わってくるため一概には言えないが、よほど高みを目指さない限り行動を始めそれをやめないかどうかだと感じた。どんどんサポート体制も整ってきていると思うので、本当に留学したい人は、自分から動いて行って欲しい。

その他

①準備段階や留学中に役に立ったウェブサイト・出版物

過去に留学していた方のブログなど。

②その他東京大学のホームページ・出版物等に掲載してよい留学中の写真があれば添付してください。

東京大学 海外留学・国際交流プログラム報告書(3ヶ月以上1年未満)

年 月 日

東京大学での所属学部・研究科等:	経済学部	学年(プログラム開始時):	学部3
参加プログラム:	全学交換留学	派遣先大学:	ウォーリック大学
卒業・修了後の就職(希望)先:			
	1. 研究職		2. 専門職(医師・法曹・会計士等)
	3. 公務員		4. 非営利団体
	✓ 5. 民間企業(業界:)		6. 起業
	7. その他()		

派遣先大学の概要

イギリス・イングランド北部のコヴェントリーに位置する総合大学。数学、経済学、ビジネススクールの評価が高く、在学生の数も多い。自然が豊かでリスや野ウサギ、水鳥は大量にいる。

留学した動機

キャリアにおける目標達成のため。以前の海外経験から志望するキャリアで活躍するには足りない能力があると実感しており、それは海外留学で鍛えることが出来ると判断したため留学した。

留学の時期など

①留学前の本学での修学状況:	2017年	学部3	年生の	S2	学期まで履修
②留学中の学籍:	留学				
③留学期間等:	2017年	9月~	2018年	6月	
	学部3	年時に出発			
④留学後の授業履修:	2018年	学部4	年生の	A1	学期から履修開始
⑤就職活動の時期:	2018年	学部4	年生の	6月頃に	行う予定
⑥本学での単位数:	留学前の取得単位			42	単位
	留学先で取得し、本学で単位認定申請を行う単位			4	単位
	留学後の取得(予定)単位			46	単位
⑦入学・卒業/修了(予定)時期:	2015年	4月入学	2020年	3月卒業/修了	
⑧本学入学から卒業/修了までの期間:	5年		0ヶ月間		

⑨留学時期を決めた理由:

留学するきっかけになった出来事が2年生の時にあったから。また、進学振り分けの関係上選択肢は実質ない。

留学の準備

①留学先大学への入学手続き(手続きにあたってのアドバイスなど)

オンラインフォームをメールに従って埋めるだけです。丁寧なメールが頂けるので迷うところは特になかったと思います。

②ビザの手続き(ビザの種類、申請先、手続きに要した時間、ビザ申請にあたってのアドバイスなど)

CASが届き次第早めにやっておくと気持ちの余裕が持てます。資金証明などは出している人も見たことがないし大方問題なく通ると思います。

③医療関係の準備(出発前の健康診断、常備薬、予防接種等)

特になし。ただし歯科治療中の方は、イギリスだと高いので日本で済ませておくことをお勧めします。

④保険関係の準備(加入した海外旅行傷害保険・留学保険等)

付帯留学なので東大の指示に従えば問題ないはずです。

⑤留学にあたって東京大学の所属学部・研究科(教育部)で行った手続きなど(履修・単位・試験・論文提出等に関して)

経済学部の演習単位分割申請。

⑥語学関係の準備(出発前の語学レベル・語学学習等)

大学に入ってから英語を練習し、出発時にIELTS7.5、留学中に英検一級を取りました。それでもネイティブのおしゃべりは3割も分かりません。英語に関しては特に英語圏の大学だと苦勞するものと思います。頑張ってください。

⑦日本から持参した方がよいもの、その他出発前にやっておくべきこと・アドバイスなど

洗顔フォーム、化粧水があまりないので、肌が弱い人は持っていくことを強く進めます。

学習・研究について

①履修した授業科目のリスト(授業を履修した場合)

※そのうち、帰国後東京大学で単位認定の申請を行ったもの(又は行う予定のもの)に●をつけてください。

授業科目名	単位数	単位認定の申請	授業科目名	単位数	単位認定の申請
EC201 Macroeconomics2	30	●			
EC202 Microeconomics2	30				
EC224 Collective Decisions	15				
EC228 War&Economy in the Twentieth Century	15				
EC304 Making of Economic Policy	30	●			

②留学中の学習・研究の概要(授業・予習・復習のスタイル、印象に残っている授業等)

大抵は週2回のレクチャーと週一回のセミナーです。3年背向けの科目は発表やディスカッション機会が多いです。

③1学期あたりの履修科目・単位数、週あたりの学習・研究時間(授業時間・授業以外の学習時間)など

レクチャーは週に10時間、セミナーは5時間ほど。一学期平均60CATSくらいになると思います。勉強時間は発表やエッセイがあるかどうかで変わります。

④学習・研究面でのアドバイス

2年生向け科目を取る方は、しっかり復習していれば問題ないと思います。人生が懸かっている留学生は別として、あまり熱心に勉強しない学生も一定数います。また数学的な面で弱い人も散見されるのでついていけないことはないと思います。3年生向け科目では発表機会が多いので、英語力が1つの壁になると思います。内容としては大したことを言っていない学生が多いですが、プレゼンテーションやディスカッションのスキルが皆高いです。

⑤語学面での苦労・アドバイス等

語学は苦労しました。無料の英語コースを受講しながらなんとかやっていました。抽選ですがIn-sessional English ClassのSpeakingは取った方がいいです。

生活について

①宿泊先(種類(寮・ホームステイ・ルームシェア等)、家賃、宿舎の様子、見つけた方法など)

キャンパス内の寮。大学の案内に従えば見つけられます。内装や快適さなどは寮によってかなり変わるようで、Rootesなど毎晩パーティをやっている寮はお勧めできません。バストイレ共用で月7万7000円ほど。

②生活環境(気候、大学周辺の様子、交通機関、食事、お金の管理方法(海外送金・クレジットカード)など)

気候は穏やかです。高くても25度程度。キャンパスにいる限り交通は気にする必要はありませんが、外に出る場合はバス(コインしか受け付けません)でコヴェントリーまで出てから電車です。出かける場合はコヴェントリーからロンドン・ユーストンまで一度出ることが多くなると思います。Railcardは取っておくことを勧めます。

③危機管理関係(留学先の治安、医療機関の事情、心身の健康管理で気をつけた点など)

キャンパス内の治安は良いですが、近隣の町は追いはぎが出たりするようなので気を付けるべきです。

④留学に要した費用について(航空賃、授業料、教科書代、家賃、食費、交通費、娯楽費などの概算)

・毎月の生活費とその内訳

食費月3万強 家賃月7万7千円 その他は必要に応じて。静かに勉強しているだけなら出費はあまりないです。

・留学に要した費用総額とその内訳

162万円。寮費77万円、航空券20万円、総食費35万円、旅行17万円、残りはその他。

⑤奨学金(受給していた場合は、支給機関・支給額・見つけた方法など)

経団連グローバル人材育成スカラシップ100万円

⑥学習・研究以外の活動(スポーツ・文化活動、ボランティア・インターン、週末や長期休暇の過ごし方など)

Go Global Ambassadorというものに入り国際交流イベントを運営していました。

派遣先大学の環境について

①留学生へのサポート体制(語学面・学習面・生活面・精神面でのサポート等)

質問すれば親切に答えてくれます。

②大学の設備(図書館・スポーツ施設・食堂・PC環境等)

揃っていますが食事関係はとて割に合わない味なので自炊したほうがいいです。

留学と就職活動について

①(就職活動を既に行った場合)留学が就職活動に与えた影響、メリット・デメリットなど

②(今後就職活動を行う場合)留学が就職に対する考え方に与えた影響

元から考えていた方向への志望度が高まった。

③留学中の就職活動への対策など(もしあれば)

キャリアフォーラムにいけば、費用は掛かるがボストンへ行くべきだと思う。自分はロンドンに行ったが、参加企業も少なく求めている企業が来る確率も小さい。

④就職が決まっている場合は、差し支えない範囲で就職先をお知らせください

- | | |
|--|--------------------------|
| | 1. 研究職 |
| | 2. 専門職(法曹・医師・会計士等)(職名:) |
| | 3. 公的機関(機関名:) |
| | 4. 非営利団体(団体名又は分野:) |
| | 5. 民間企業(企業名又は業界:) |
| | 6. 起業(分野:) |
| | 7. その他() |

留学を振り返って

①留学の意義、留学を通じて成長したこと、その他留学を通じての所感

かねてより留学の目的としていた経験は積めたため、意義はあった。また長期海外経験はなかったため、ここで経験しておくことが今後何かの役に立つのかもしれない。ルームメイトがこれまでに会ったことのないような強烈に厄介な人物であったため、彼と9カ月間暮らしたことで異なる思考をする人への対応、想像力、寛容さなどはついたと思える。

②留学後の予定

就職活動

③今後留学を考えている学生へのメッセージ・アドバイス

無条件に留学は素晴らしいと宣伝している広告などもありますが、それは必ずしも正しくありません。目的意識を持ってその達成のために行くか、自分が単純に海外生活そのものを楽しめるタイプの学生であると自覚したうえで楽しみに行くかのどちらでもないなら再考したほうが良いと思います。留学に伴い多くの日本でのチャンスを見逃すことになり、またほとんどの場合親兄弟に大きな迷惑をかけるからです。私は目的ありきでの留学だったので楽しめましたが、基本的には、かかる大きなコストと一般でない自分が留学に対して見いだせる効用を比較して慎重に決定すべきだと思います。

その他

①準備段階や留学中に役に立ったウェブサイト・出版物

東京大学のサイトなど

②その他東京大学のホームページ・出版物等に掲載してよい留学中の写真があれば添付してください。